

水産学部と五島市との水産振興へ連携覚書の締結

平成26年11月10日、水産学部は五島市と相互の連携を強化し、協力して長崎県内における離島地域の一層の活性化に資するため、覚書を取り交わしました。今後、五島市が有する資源の効果的な活用と離島地域の様々な課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与していきます。



荒川水産学部長からは「連携は地域創生型の研究を進めていく上で重要な意味がある」、野口五島市長からは「漁価低迷など水産業には多くの課題があり、長崎大の集積や英知は市のためになるはずだ」と述べられました。



また、当日は五島市役所にて、同学部の橋教授より「魚類の生鮮度と長距離輸送における鮮度保持方法」、亀田教授より「地域の海が支える日本の未来―協調と交流―」と題した記念講演も開催され、さっそく活発な意見交換が行われました。